



桜塚小学校だより 11月号

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/sakuraz/>

令和元年(2019年)11月26日

豊中市立桜塚小学校

校長 原野 裕章



木々の紅葉もようやく深まり、冬の到来を予感させる季節となりました。二学期も残すところあと約ひと月となりました。学習発表会も盛況のうちに終わることができました。それぞれの学年に応じた取り組みで、子ども達も成長できた、満足のいく発表会となったことと思います。大きな行事もほぼ終わり、あと作品展がありますが、子ども達の作品も、順調に仕上がりに近づいています。28日(木)から個人懇談にあわせての開催となりますので、是非多目的室に足を運んでください。



学習発表会

11月20日(水) 2・4・6年が、舞台発表を行いました。2年生は学年全員で劇に取り組み、4年生はクラス毎に劇に取り組み、6年生は学年全員で音楽発表に取り組みました。

4年2組 劇『誰が王様に?』



ヨンノ二王国では、突然王様が交代することになりました。そこへ隣の国の悪い王様が現れて、6人の王子王女達が次の王様の座を懸けて、対決することになりました。それぞれの王子や王女のいいところを活かして、対決は王子達の完全勝利です。王子たちは6人の力を合わせて王国を守ることになりました。



2年生 『パオパオの木』



ある小さな星で、お世話をしていたら、大きくなりすぎたパオパオの木。星の子達は切ってしまうとしますがうまくいきません。何とかしようと、いろいろな星を訪ねます。「たたかいのほし」「ひっこしやのほし」「なんでもやのほし」「てんさいのほし」でも、どこでも解決はできません。最後に知恵を絞って一緒に暮らす方法を考え付きました。



絞って一緒に暮らす方法を考え付きました。

4年1組 『ナマケロ星人やってきた』



ナマケロ病の粉を使って、人を怠け者にして、地球を乗っ取ろうとするナマケロ星人。はじめに桜塚小を乗っ取りにきました。子ども達や先生までもがナマケロ病にかかってしまいました。残された子ども達も危うく

ナマケロ病の粉をかけられそうになりましたが、子ども達の機転で、反対にナマケロ星人たちをやっつけてしまいました。



4年3組 『SSAエネルギーをとりもどせ』

クッタドンたちに、人間の持つエネルギーS（スマイル）S（シンパシー）A（オール）を奪われてしまいました。助けに現れた伝説の戦士、スマイルマン、シンパシーマン、オールマン。



一度はやられてしまいますが、〇〇カードマンの出現により、クッタドンたちを退治することができました。ニュースキャスターの中継もあり、コメディ風な場面もあり

りの楽しい劇でした。



6年生 『Trust 心を一つに ~広げよう、みんなの輪~』



沖縄をテーマにとりあげました。豊中市と沖縄市は「兄弟都市」です。寸劇を交えて、沖縄について学んだことを披露してくれました。軽快なリズムの

音楽ですが、地上戦という辛い歴史もあつた沖縄です。「どんなことがあっても前向きにみんなで乗り越えていく」そんな沖縄の人の思いを込めての合奏・合奏でした。最後に、会場の全員で「涙そうそう」を合唱しました。

